



メンバーは連休返上で改修に当たった。改修には地域の人も巻き込まれることに。その甲斐あっていまでは、うっそうと木が生い茂っていた名残りはない。

事にしようということ、誰もそこに住んでいないのに加入して、役員もしました。活動以外のところでのそういう関係づくりは大事なのです。活動が認識されてくると、少しトラブルがあっても民生委員や主任児童委員、自治会長さんなどが間に入ってくれるようになりました」

### 〇〇 頑張るときも、できないときも

ふらつとは、自分たちの居場所が欲しいという思いがすべての出発点だ。なぜ、こんな苦労までして居場所を手に入れたかったのか。岡本さんは自身の子育ての体験から、ここがどういう場なのかを話してくれた。

「『いいお母さんにならなきゃいけない』という、孤立したしんどい子育てを何とかしたかったのです。『子育てをしんどいと思ってる自分はダメ母だ』と自分を責めないで、そう思わされてきた社会の問題なのですから。」